



せせらぎ Se Seragi



漢方のよさ No.163号 ～冷え性Ⅲ～

発行日：2022年6月5日(日)
発行者：浮田 徹也

発行所：医療法人 せせらぎ会 浮田クリニック
〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1
☎077-574-3751 ☎077-574-3792
🖨 HP: <http://www.ukita.gr.jp>
✉ e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

冷え症の本体は不明瞭で、循環器の異常、ホルモン異常、体質、食生活など様々な異常が指摘されている。慢性疾患を治療中に、いつの間にか冷え症が改善する人いるが、冷え症を治して欲しいと来院され治療に難渋する場合もある。冬は冷えるが、夏は逆にほてる人、夏も冬も冷え、一年中靴下が離せない人、右だけが冷える、左だけが冷える人、頭だけが冷える人、背中や胃の裏が冷える人、腰が冷える人、膝から下が冷える人もいる。冷え症の治療は温めたり、体力を補ったりすることも多いが、瘀血(うっ血)や血虚(貧血など血液不足)で循環障害を起こした結果冷える場合もある。体に蓄積したストレスを捨てる(瀉)(気滞)必要のある場合もある。体内の水分の偏在(水毒)でその部分が冷える場合もある。また、胃腸が弱く、胃下垂や慢性胃炎で、新陳代謝が低下し疲労しやすく冷える場合もある。漢方治療は、問診、望診(顔色や舌の診察)、聞診(声や咳を聞く)、切診(腹診や脈診)を基本とし、先人の経験から伝えられた「口訣」と言われる処方を使用を取り入れながら、患者様と共同で適方にたどり着く。代表的な「冷え性の症例」を参考にさせていただきたい。

この正気の虚を分類して気虚、血虚、陽虚、陰虚などとし、それぞれ補気、補血、補陽、補陰して治療する。

イタリア

コロナ感染症のため、外国旅行をあきらめておられる方も多いことでしょう。今回は、イタリアのフィレンツェのウフィツィ美術館などを紹介してみましよう。ウフィツィの間には、ウフィツィ・サンティの自画像や恋人が描かれているアネの学堂があり、ウフィツィ・サンティと彼の弟子らの手により描かれた作品がある。その他有名な作品は、ルカ・サンティの聖母(ジョット作1310年)、受胎告知(シモネ・マルティニとリッポ・メニ作1333年)、ウベッティノ公爵夫妻の肖像(ピエトロ・デラ・フランチェスカ作1470年)、聖母子と二天使(フィリッポ・リッピ作1465年)、ビエーナの誕生(サント・ロボッティチ作1484年)、春(ブナマツァーニ作1482年)、キリストの洗礼(ペロッキオとレオナルド・ダ・ヴィンチ作)、受胎告知(レオナルド・ダ・ヴィンチ作1480年)、聖家族(ミケランジェロ作1507)、東方3博士の礼拝(アルブレヒト・デュラー作1504年)、若き娘の自画像(レオナルド作1664年)、聖母子と聖人たち(ロッソ・フィレンティノ作1518年)、ピエラの聖母(ウフィツィ作1505)、ウフィツィ自画像(ウフィツィ作1506)、長い首の聖母(パルミジヤニ作1535年)、ウベッティノのガイナス(ティツィアーノ作1538年)、バツカ(カラヴァッジョ作1598年)がある。



ウフィツィのアネの学堂



ミケランジェロの天井画

1480年にかけてシクストゥス4世により作られたバチカン宮殿のシティーナ礼拝堂には、ミケランジェロの天井画(天地創造)があり、キリストの右下には自身の生皮を持つババロマイが描かれている。

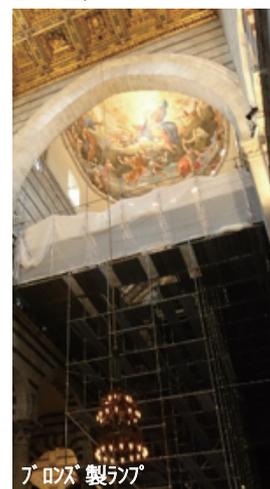
ドゥーモ(大聖堂)の南から塔を支える写真で有名なピサの塔は斜塔入口脇の装飾、「ピサ入港」の図、251段が特徴的だ。1063年、ブスケット・ピサーノが建設開始したロマネスク様式のドゥーモには、正面のファサド、ロンバルディア風の柱廊と4層のアーチ、聖母の生涯が描かれた中央の扉がある。説教壇(ジョヴァンニ・ピサーノ作1310年)、聖エウゼビウスの遺体安置、ガリイが振り子の法則を発見したと言われるブロンズ製の振り子でも有名だ。



ピサのドゥーモ(大聖堂)



ピサの塔



ブロンズ製の振り子



フィレンツェのメルカト・ヌオーヴォ(新市場)のロッジア(開廊)の南側脇に、「幸運の子豚」フィレンツェのシンボル・イタリヤの像は、当時の愛称のまま子豚(伊:Porcellino ポルチェッリノ)と呼ばれている。神戸にもコピエがある。1640年頃に、彫刻界の大御所ジャンボローニャに学んだピエトロ・タッカによって作られ、表面に施された毛並みやイタリヤの棲む沼地の様子(植物、両棲類や爬虫類)など表現している。「鼻を撫で、口の中にコインを入れて手を離し、そのコインが土台の格子の下に落ちればとても縁起が良い」との言い伝えがある。



症例を示しましょう。

症例1 冷え症 年齢23歳、女性、BMI 18.0。

手足が冷える、朝が起きにくい、手や顔や足がむくむ、月経痛、便秘、月経:30日周期 7日間、月経量:少ない。第1診脈:遅、沈、弱。舌:淡暗赤色・無苔・両側に歯痕。腹証:腹力弱、皮膚乾燥、胸脇苦満(-)、両側腹直筋緊張(-)、臍傍抵抗圧痛より、虚証、瘀血、血虚、水毒、少陰病と診断して、当帰芍薬散+真武湯+サフランを処方。第2診 服薬4週間後、朝が起きにくい、手や顔や足がむくむ、月経痛、便秘が改善。第3診 服薬8週間後手足冷えも改善。2年服薬して症状なくなり廃薬。

症例2 冷え症 年齢45歳、女性、BMI 28.0。

足腰が冷え、夏も靴下が必要、疲れやすい、顔はほてる、月経不順で月経痛が強い、便は硬く、3日に1回排便、月経:20~45日周期 7日間、月経量:多い。第1診脈:緊、沈、実。舌:暗紫赤色・乾白黄色苔。腹証:腹力弾力性、膨満、胸脇苦満(-)、両側腹直筋緊張(-)、臍傍抵抗圧痛特に、左腸骨窩抵抗圧痛より、実証、瘀血、血熱と診断して、桃核承気湯を処方。第2診 服薬4週間後、便通と顔ほてり改善。第3診 服薬8週間後疲れと月経痛改善。第4診 服薬 1 2 週間後足腰の冷え改善。1年後症状安定したので廃薬。

症例3 冷え症 年齢60歳、女性、BMI 22.0。

足腰が冷え、夏も靴下が必要、頭がぼんやりしやすい、頭重、首の凝り、のぼせ、便は1日1回、尿は1日4~5回、夜間2回。第1診脈:細、遅。舌:淡暗紅色・乾白黄色苔。腹証:腹力軟弱、特に下腹部は弱い(臍下不仁)、腹部膨満、胸脇苦満(-)、両側腹直筋緊張(-)、臍傍抵抗圧痛(-)。虚証、腎陽虚、上衝と9診断して、八味丸を処方。第2診 服薬4週間後、下肢の冷え、頭のぼんやり感、のぼせ改善。第3診 服薬8週間後夜間尿と頭重不変。第4診 服薬 1 2 週間後夜間尿1回に改善。頭重消失。2年後症状安定したので廃薬。

症例4 更年期障害 年齢33歳、女性、BMI 23.0。

最近6ヶ月、不安なことが多く、いらいら、落込み、喉の圧迫感、不眠、動悸を自覚するようになった。ホットフラッシュはない、月経:30日周期 7日間、月経量:普通。第1診脈:弦、緩、浮、舌:淡暗紅色、薄白苔。腹証:腹力中程度、皮膚乾燥、胸脇苦満軽度、両側腹直筋軽度緊張、臍悸、臍傍抵抗圧痛より、虚証、少陽、瘀血、血虚、気鬱と診断して、柴胡加竜骨牡蛎湯+半夏厚朴湯を処方。第2診 服薬4週間後、不安、イライラ、喉の圧迫、動悸、不眠が改善してきた。第3診 服薬8週間後、時々落込み、不眠の日がある。第5診 服薬16週間後、時々症状あるがほぼ改善した。1年服薬して症状なくなり廃薬。

症例5 子宮筋腫 年齢38歳、女性、BMI 23.0。

最近貧血を指摘された。動悸、疲れ、めまいもある。超音波検査で、子宮内膜を变形させる子宮筋腫5cmの所見、卵巣嚢腫(-)、子宮頸部及び子宮体部細胞診(正常)、血液検査血色素7.0g/dl、フェリチン2.5、月経:27日周期 7日間、月経量:過多。第1診脈:弦、遅、沈、弱。舌:淡暗赤色・薄白苔。腹証:腹力弱、皮膚乾燥、心下痞、臍上悸、臍傍抵抗圧痛より、瘀血、血虚と診断して、桂枝茯苓丸合四物湯、鉄剤を処方。第2診 服薬4週間後、月経やや減り、血色素9.0g/dl。同処方。第3診 服薬8週間後、血色素11.0g/dl。同処方。第4診 服薬12週間後、血色素11.5g/dl。同処方。1年後、桂枝茯苓丸合四物湯、鉄剤(生理中)処方を継続。

症例6 高血圧症 年齢45歳、女性、BMI 24.0。

血圧140~160/80~96。頭痛、顔のほてり、首と肩の凝り、眼の疲れ、イライラして怒りっぽい、便秘を自覚。月経:28日周期 7日間、月経量:普通。月経痛。第1診脈:弦、細、數、沈。舌:淡赤色・薄白苔。腹証:腹力弱、皮膚乾燥、心下痞、軽度胸脇苦満、臍上悸、臍傍抵抗圧痛より、虚実間証、熱症、瘀血、血虚、上衝と診断して、釣藤散を処方。第2診 服薬4週間後、頭痛、顔のほてり、首と肩の凝り、眼の疲れ、イライラして怒りっぽいが改善し、血圧140~150/80~94。第3診 服薬8週間後便秘改善、血圧136~146/80~92。6ヶ月後、血圧130~140/78~90。1年後血圧128~136/78~86。服薬継続中。

[院長]

更年期障害

女性ホルモンが低下し始めると、それまでと違い、筋肉、血管、関節、骨などの弾力性が低下し、心も体もかたくなり、人との係りや環境に敏感になってきます。息抜き（のびのびさ、ストレス解消）、筋肉体操などもお勧めしながら、当院は患者様のご希望に沿って、漢方薬、ホルモン剤、プロラクチン（胎盤）治療を実施しています。また、ご希望の方には、女性ホルモンの値を調べ、閉経時期の推定をします。



子宮筋腫

過多月経、貧血、月経痛、不妊症、腰痛症などの原因の一つで、30歳以上の女性の30%に見られます。また、子宮体癌、子宮肉腫、卵巣腫瘍などと区別するため、超音波検査、血液・尿検査、子宮癌検査、MRI検査をします。当院では、子宮筋腫による症状（月経過多、月経痛、貧血）を軽くする治療法の一つとして、漢方薬治療を実施しています。およそ3ヶ月程度で月経過多、月経痛、貧血が改善し始めます。患者様の中には4～6年以上も漢方薬を気長く服用され、子宮筋腫の大きさが小さくなる方もおられます。その他の治療には、GnRHアゴニスト（排卵抑制剤）、子宮動脈塞栓術(UAE)、集束超音波治療(FUS)、手術などがあります。



高血圧症

がっしりした肥満タイプで、のぼせ、いらいら、便秘、不眠、動悸、首のこりや肩こりを訴えるタイプと青白く細い体型で、胃腸が弱く、冷え性、虚弱、肌が荒れやすいタイプがあります。それぞれのタイプにはそれぞれ適した漢方薬を用います。腹診、脈診、舌診、問診（食欲、便秘、尿量、発汗、ストレスなど）、検査などに基づいて処方を決めています。また、重症高血圧症の方には降圧剤を併用しています。



小品方(経方小品)

全12巻からなる「小品方」の著者の陳延之は、東晋5世紀後半頃の人で、中原(黄河中～下流)出身、荊陽付近に居を構え、経験医方と医学理論を整理した。唐代の国定教科書で、日本に伝えられ奈良時代以後第1医学書とされた。「謝靈運秘閣四部書目録」(431)や「張仲景弁傷寒并方9巻」や「張仲景雜方8巻」が引用され、序文に「漢末の張仲景は意志精密、旧効を詳らかにし、往古の通じる」と記されている。また、11世紀、傷寒論や黄帝内経などを校正した宋の林億や高保衡は「備急千金要方」の後序の中で「唐代、医師になるには、張仲景の傷寒論と陳延之と小品方を学習しなければいけない。」と小品方を絶賛している。小品方には「傷寒」「温病」を「疫病の気」に感受したためのものと他の疾患の発病機序と区別し、「傷の化膿や中耳炎の原因」を考えるのに「病原体」の存在の仮説を立てたことは意義のあることと言える。

当院の漢方治療(2022)

剤型

- ・エキス漢方薬 :錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。軽症・中程度の病気の治療に処方します。当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。
- ・漢方煎じ薬 :重症の病気、エキス剤が無効な場合に処方します。良質の生薬を組み合わせた漢方薬。20～30分煮て作ります。
- ・漢方入浴剤 :7ℓ¹の方の入浴剤をお作りします。

適応症

疲れ、冷え、むくみ、動悸、めまい、ほてり、便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、痛み、痺れ、発熱、かゆみ、排尿障害…など凡ての症状。

当院漢方治療の疾患

全身症状	全身倦怠感、冷え症、むくみ、頭痛、食欲不振、めまい、微熱、夏まけ
産科・婦人科疾患	不妊症、更年期障害、月経前症候群、生理痛、子宮筋腫、子宮内膜症
	月経不順、妊娠中諸症状(感冒、下腹部痛、便秘、下痢、むくみなど)
皮膚疾患	アトピー皮膚炎、にきび、尋常性乾癬
アレルギー疾患	アレルギー性鼻炎、蕁麻疹
消化器疾患	便秘、下痢、慢性胃炎、神経性胃炎、過敏性腸症候群、潰瘍性大腸炎
	機能性胃腸症、逆流性食道炎、痔
代謝・免疫疾患	慢性関節リウマチ、肥満、糖尿病
呼吸器疾患	慢性気管支炎、気管支喘息、感冒、インフルエンザ
腎泌尿器疾患	膀胱炎、頻尿、夜尿症
整形外科疾患	腰痛、肩こり、神経痛、変形性膝関節症
心疾患	高血圧、不整脈
心身医学的疾患	自律神経失調症、うつ病、不眠
	脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感
後遺症・副作用	抗癌剤使用時副作用

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰膿分泌物、心電図、骨量測定……)などを利用して、漢方薬を決めます。

漢方予約外来

漢方専門医(兼漢方専門医指導医)に本格的な漢方治療を希望される方のための「漢方予約外来」です。
ご希望の方は当院受付又はお電話で診療時間内に予約してください。
診療日時：毎週金曜日午後2時～3時20分、一人20分。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は早急に受付に連絡して下さい。

ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

- ・トップページ (お知らせの欄、診療日程カレンダー)
- ・産科と婦人科のページ (入院、食事、各種教室、指導) (癌検診、不妊症、更年期障害)
- ・漢方治療のページ (漢方治療)
- ・各検診と予防接種のページ (健診、ブライダルチェック、予防接種)
- ・当院の施設案内、当院への交通 (車、JR)